

物の人工汚染布を作製した。洗浄試験は常法により洗浴温度、濃度、時間等の影響を知るため三元配置法により行なった。また、各種洗剤を用いて手洗い技法における洗浄率の比較、各種洗濯機の水 flow の変化による洗浄率の比較等検討した。

3. 洗浄率に与える影響は洗浄時間、洗剤濃度よりも温度の影響が著しい。また機械の影響も大でやはり、手もみ>はけ>つかみの順となり、洗濯機の水 flow の強いものほど洗浄率が高い。しかし、絹織物の劣化の原因が温度、機械力に最も関係があるので、この条件を考慮した洗濯法の工夫が考えられなければならない。

B—55 絹織物の洗浄性に関する研究

高知大 西村 久子
○吉川 せつ

1. 従来の洗浄性に関する研究の大部分は木綿、または化繊織物を対象としたもので絹織物の基礎的な洗浄性については明らかにされていない。従って、和服材料、その他の絹織物の管理面は取り残されている感が強い。合理的な洗濯法を知る一助として、今回は、その基礎的条件における洗浄力実験を行なった。

2. 油化学協会洗浄法委員会規定による方法で絹平織